

2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 3 日

所属	国際教養学部	職名	助教	氏名	中村優介
研究課題	英米関係と英仏関係の狭間で―フランスの再興へ向けたイギリス外交、1940～1945 年―				
研究キーワード	国際政治	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	10. 人や国の不平等をなくそう	16. 平和と公正をすべての人に	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>昨年度に慶應義塾大学大学院法学研究科に提出し、審査を通過した博士論文「フランスの再興へ向けたイギリス外交、1940～1943 年」を単著として出版すべく今年度は大幅に加筆修正を行った。そして、「イギリスの戦後ヨーロッパ構想とフランスの再興、1940～1945 年―大陸と大西洋の狭間で―」というタイトルで千葉商科大学学術図書出版助成に申し込み、採択されたため、慶應義塾大学出版会より出版するための準備を進めている。</p> <p>また、今年度は論文を 2 本出版した。1 本目は博士論文に関連するテーマで、博士論文に盛り込み切れなかったものを『千葉商大論叢』から出版した。加えて、2022 年 6 月には国府台学会で「イギリスの戦後ヨーロッパ構想とフランスの再興、1940～1945 年―大陸と大西洋の狭間で―」というタイトルで報告を行い、本学の教員と研究の内容に関して議論した。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>なし</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>中村優介「フランスの再興へ向けたイギリス外交、1940～1945 年―ウィンストン・チャーチルの役割に着目して―」『千葉商大論叢』第 60 巻第 2 号、2022 年 11 月、189～202 頁。</p> <p>中村優介「アジア太平洋戦争におけるイギリスの政治戦と政治戦日本委員会の設立、1941～1942 年」『千葉商大論叢』第 60 巻第 3 号、2023 年 3 月、177～189 頁。</p> <p>【学会発表等】</p> <p>中村優介「イギリスの戦後ヨーロッパ構想とフランスの再興、1940～1945 年―大陸と大西洋の狭間で―」国府台学会第 6 回研究会、2022 年 6 月 29 日。</p> <p>中村優介「イギリス外務省における香港返還構想の頓挫、1941～1947 年―『帝国意識』と『一国二制度』への道―」第 6 回比較歴史社会学研究会、2022 年 9 月 24 日。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>イギリスへの旅費・滞在費</p> <p>図書代</p> <p>学会会費</p> <p>名刺作成代</p>					

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

千葉商科大学学術研究助成金 個人研究「BREXIT 後イギリスの環境外交—グローバル・ブリテンの模索—」

千葉商科大学学術図書出版助成金「イギリスの戦後ヨーロッパ構想とフランスの再興、1940～1945—大陸と大西洋の狭間で—」（慶應義塾大学出版会）

（本文は2ページ以内にまとめること）